

今月号、モチーフにさせていた
だいたのはユニビアささやま。
建築にとり込まれた自然が美しく調和している風景である。
夕暮れにライトアップされた並木が、人工と自然の境界線を溶かしてゆく幻想を抱く。そんな不思議なこころさを感じながら作業をすすめた。
カラーリングは深まりゆく秋を意識して、日本の伝統色チャートより、柿色を使用した。

■特集予告

10月号／自治体住宅政策への提言
OBAYASHI—人間・建築・都市

11月号／第38回青年技術者
建築と土木(構造篇)

会 長 佐野正一
副会長 金 夢 深・葉袋公明
市川 宏・鴻池藤一

編集委員会(平成3年度)

■編集理事

井上 豊

金井 弘次

川島 繁三

小島 好富

須賀 謙一

竹中 實

深江 慶三

松村 宏至朗

溝神 繁

若山 繁

■編集委員長

溝神 宏至朗

■編集顧問

東 孝光

■編集委員

★計画系分科会

☆計画系

梅村 宏尚

河端 秀直

小浦 久子

鈴木 克彦

○田中 直人

中井 省吾

松川 敏正

山尾 弘子

横関 真紀

吉村 英祐

☆建築計画系

石山 道男

磯村 千恵子

上杉 秀隆

江副 敏史

菅野 忠司

○北村 潤

黒川 明彦

※佐藤不二男

塚本 史郎

月金 国男

山本 匡

吉羽 逸郎

☆インテリア系

大森 智子

大橋 眞由美

加藤 力

角方 利幸

※神谷 剛

○北浦 かはる

駒田 哲男

中村 孝之

西川 純一

福田 由利

★構造分科会

稲葉 繁夫

○角 眞彰

多賀 謙蔵

野村外喜夫

馬場 研介

★設備分科会

○印 副委員長と幹事

※印 同代行

印刷 平成3年9月20日

発行 平成3年9月25日

発行人 社団法人日本建築協会

発行所 社団法人日本建築協会

大阪市北区梅田1-3-2100

電 06-348-0635

振替口座 大阪1-39975

印刷所 日本写植印刷株式会社

電 06-606-1111(代)

青葉印刷株式会社

電 06-351-5428(代)

サン総合印刷株式会社

電 06-454-1481(代)

日本電植株式会社

電 06-357-1803(代)

定 価 980円(本体価格951円・送料別)

(消費税29円)

9 通巻 834

通巻

834

会告

作品作風

Gallery

書評

ブックステーション

会員の頁

法令コーナー

GBRCニュース

建築の眼

特集

対談

グラフィア

INFORMATION

特集

座談会

事例紹介

資料

特集

作品

構造の頁196

設備の頁197

施工材料の頁178

月報

1917創刊

1991
72集

建築と社会 C ARCHITECTURE AND SOCIETY

CONTENTS
JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

特集●黄昏の都市<WORKS by KINDEN>

●空間のアイデンティティ

●大建設40周年作品集

SPECIAL FEATURES ON THE CULTURE OF LIGHT-WORKS BY KINDEN-, THE SPACE IDENTITIES OF THE RECENT PROJECTS & THE 40th ANNIVERSARY OF DAIKEN ARCHITECTS ENGINEERS & CONSULTANTS.

長崎オレンジ村+ハウステンボス(建設工事中)視察会、大阪国際平和センターをめぐる風景—シーラカンス作品展・講演会—、建築工事実務講習会—中国支部—、GALLERY・MA 講演ビデオ映写会、協賛の催し—木質材料講座、「人」中心のオフィス環境とヘルスケア、第11回大阪まちなみ賞記念講演・表彰式、第13回「91住宅設備展/ホームアメニティ」、講習会「建築構造物の設計における最近の話題」—— 1

大和銀行本店ビル ————— 設計監理: 安井建築設計事務所 東畑建築事務所 — 12
施工: 大成建設・竹中工務店・鴻池組・奥村組・野村建設工業共同企業体

大阪セメント本社事務所ビル ————— 設計監理: 大林組 — 18
施工: 大林組・鴻池組共同企業体

河合町立文化会館(まほろばホール・図書館) ————— 設計監理: 安井建築設計事務所 — 22
施工: 村本建設

新大阪本村第三ビル ————— 設計監理: 大林組 — 24
施工: 大林組・大成建設共同企業体

デザインゲーム/内田文雄・伊藤雅春 ————— 26
「インテリアの発想」/岸本幸臣 ————— 28

短評 6冊/稲本裕子・大沢智弘・増淵昌利・山崎章子 ————— 29

先輩会員の近況とご意見—1— ————— 30

「播磨科学公園都市」建設計画/高見成志 ————— 31

環境振動に対する防振対策 ————— 32

みちすじ・まちかど整備事業/安田丑作、夏祭りと地域社会/川上昌男、舞台装置としての町/猪倉啓行、建築は公共のもの/中村俊雄、 ————— 34

黄昏の都市<WORKS by KINDEN> ————— 36

広がる「あかり」の世界と飛躍する設備技術の明日を語る ————— 石井幹子/若山 繁 — 36

アサヒビル吾妻橋ホール、ヤマトインターナショナル東京本社、日本電気本社ビル、大阪東京海上ビルディング、新宿モノリス、21ホテルシーショア御津岬、梅田センタービル、大阪市立科学館、三養荘新館、ホテルオークラ神戸、榎原市昆虫館、南港スカイトワー、瀬戸大橋、レオマリゾートホテル、大和銀行本店ビル、イトーキ大阪ニューオフィスギャラリー、ユニビアささやま、東京体育館、東大寺大仏殿、灘萬山茶花荘 ————— 42

環境にやさしい建築デザインは可能か?—関西設計者会議公開シンポジウム、TADAO ANDO BEYOND HORIZONS IN ARCHITECTURE、「圧縮と引張」—狩野忠正による空間への試み—、INAXギャラリー大阪企画「浪花のアドバタイジング展」、「風の劇場」—松本秋則展—、村野藤吾展「イメージと建築」開催中、開発許可事務等を八尾市長へ委任、国際建築設計競技「世界で最も美しい住まい」、宮城県陸上競技場(仮称)公開コンペ、第2回エス・バイ・エル住宅設計コンペ「アゲム+イブの家」、第5回国際デザイン・アワードの受賞者決まる、「町家型共同住宅」に関する提案を募集—京都市—、「関西建築家大賞」創設—(社)新日本建築家協会—、建築21世紀講演会、「マシシティとしての日本の都市」 ————— 67

空間のアイデンティティ ————— 72

アイデンティティとはなにか? ————— 材野博司/恩地 惇/白子正人/田中直人 — 72

プランニングvsデザインの状況 ————— 中塚重樹/奥井啓二 — 78

地域性—守るvs地域性—攻める「NEXUS-III」vs「CARNIVAL PLAZA」 ————— 岩永 一/佐藤芳俊 — 80

デザインの自由性vsデザインの統一性 ————— 三沢亮一/川村眞次 — 82

「ネクススワールド」vs「ベルコリーヌ南大沢」 ————— 中迫吉央/竹村楊子 — 84

ステータス・パフォーマンスvsライフ・パフォーマンス「オーキッドコート」vs「桜宮リバーシティ中央、淀川リバーシティささなみプラザ」 ————— 田中直人/城 義博 — 86

未来を創るvs過去を紡ぐ ————— 村田 修 — 88

「ワールド創造夢夢」vs「AD&A ギャラリー・オフィス」 ————— 89

地域性の演出vs規格化による合理性 ————— 92

「西神ニュータウンのサイン」vs「カタログサイン」 ————— 179

個性的デザインの新社屋の効能「アサヒビル吾妻橋ビル」 ————— 180

ゼネコンのシンボルマーク、社名ロゴにみる—コーポレート・アイデンティティ ————— 182

大建設40周年作品集 ————— 183

ニチメン 大阪本社ビル、京橋コムズ ガーデン、プラネットステーション、レオマワールド、神戸市立須磨海浜水族園、新潟市水族館 マリンピア日本海、長野県伊那文化会館、貝塚市民文化会館、東浦町中央図書館、健康文化センター 鳥取厚生年金会館、扇雀館本舗 姫路工場、三重自治会館、埼玉県障害者文化交流センター、出屋敷駅北地区第1種市街地再開発事業、阿倍野B1地区第2種市街地再開発事業、ウィラ ノーヴァ大谷、樟蔭女子短期大学、大阪府立高津高等学校、河内長野市立美加の台中学校、岡崎市中央クリーンセンター、Whity うめだ、 — 92

鉄骨用溶接ロボットと現場溶接/徳田忠明 ————— 179

新しいスプリングラーの省力化工法「スプリングラー・ヘッダー工法」/南部 武 ————— 180

新規多彩模様塗料/谷口 茂 ————— 182

平成3年7月分 ————— 183